

総合型選抜の3STEP

1 選抜方式をチョイス

学部・学科により出願資格や選考方法が異なります。
4種類ある総合型選抜の中から複数出願して合格可能性を高めることもできます。

○ 併願できる組み合わせ

AO入試もしくは
アクティブラーニング型入試

+

専門学科・総合学科出身者入試
もしくは
課外活動優秀者入試

✕ 併願できない組み合わせ

AO入試

+

アクティブ
ラーニング型入試

||

専門学科・総合学科
出身者入試

+

課外活動優秀者入試


2 出願書類の準備

入学試験要項を確認して、志望理由書や事前課題を作成しましょう。
志望する学部・学科によって準備物が異なります。詳しくは、入学試験要項をご確認ください。
総合型選抜は早期に合格が決まる分、試験日程も他の入試に比べて早めです。
しっかり得点できるよう、準備しておきましょう。
※入学試験要項(出願書類)は随時公開予定です。

3 過去問の対策

学部・学科により、選考方法は異なります。本学ホームページで過去2ヵ年分の入試問題を公開中です。学力を問う問題が出題される場合は、高校での学習をしっかりとやっておきましょう。
※昨年度から実施内容を変更している学部・学科があります。

▼過去問題はこちらから



※合格者インタビューも掲載予定です。

総合型選抜 AO入試

各学部共通出願資格

※出願資格には、各学部共通出願資格に加えて、各学部の出願資格があります。各学部の出願資格は、P30以降を参照してください。

つぎの各項に該当する者

- 1.本学を第一志望とし、第2次選考で合格すれば必ず入学する者
 - ①第1次選考における他大学入試との併願は可
 - ②第2次選考出願において、他大学との併願は原則不可(ただし、本学「専門学科・総合学科出身者対象入試」「課外活動優秀者入試」は併願可)
- 2.①～④のいずれかを満たす者
 - ①高等学校または中等教育学校を2022年3月に卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
 - ②通常の課程による12年の学校教育を2022年3月に修了した者および2023年3月修了見込みの者
 - ③在外教育施設(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した者)、韓国高等学校または朝鮮高級学校を2022年3月に修了した者および2023年3月修了見込みの者
 - ④専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを2022年3月に修了した者および2023年3月修了見込みの者として該当し、志望学部・学科に関連する専門教育を行う学科・コースに所属していると本学が認めた者

法学部

趣旨・目的

本入試では、法学部で学ぶために必要な能力を備えた人材を選考します。その能力とは、第一に「社会問題に対する鋭敏な関心や問題意識を持つことができる」、第二に「入学後に学ぶ法律学や政治学関連の文章を正しく読み取り、自らの意見を論理的に思考・整理して文章化し、口頭で表現できる力があること」を示します。また、大学で学んだこと、経験したことなどを、将来社会で積極的に生かしたいという意欲や明確な将来像を有しているかを評価します。

出願資格

※各学部共通出願資格(P30参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および法学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学法学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.出身学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上、かつ「国語」「地理歴史」「公民」の学習成績の状況がいずれも3.0以上の者

選考方法

第1次選考	第2次選考
<p>〔書類審査〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む) 2.調査書(またはこれに代わるもの) <p>「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。</p>	<p>〔プレゼンテーション(自己PR)〕</p> <p>テーマは自由。特に以下のような文化的活動を高く評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①芸術(美術・音楽・演劇・写真など)、②文芸や情報(小説や詩歌の創作・新聞・放送など)、③地域貢献・ボランティア活動、④特殊な技芸(囲碁・将棋・外国語会話・弁論など)、⑤科学的研究(歴史や現状についての調査・研究など) <p>〔質疑応答〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを踏まえた質疑応答

総合型選抜 AO入試

「入学試験要項」は本学入試情報サイトからダウンロードしてください

学部	第1次選考 併願			第2次選考 専願			入学手続期間	
	出願期間	選考日等	2次選考出願可否発表	出願期間	選考日等	合否発表		
法学部	9/1(木) ~ 9/6(火)	9/17(土) 寝屋川キャンパス	9/28(水)	9/28(水) ~ 10/4(火)	11/2(水)	11/2(水)	一括手続 11/2(水) ~ 11/14(月) 分割手続 1次手続 11/2(水) ~ 11/14(月) 2次手続 11/2(水) ~ 2023年 11/16(月)	
国際学部		書類審査						10/15(土) 寝屋川キャンパス
経済学部								
経営学部		9/17(土) 寝屋川キャンパス ※生命科学科は 書類審査						10/4(火)
理工学部								
薬学部		9/17(土) 枚方キャンパス						10/15(土) 枚方キャンパス
看護学部		書類審査						
農学部		9/17(土) 枚方キャンパス						

〈注意〉現代社会学部は募集しません。

国際学部

趣旨・目的

国際学部では、グローバル化・ボーダーレス化が進む世界における様々な課題について解決策を見出し、主体的に行動できる人材の養成を目指します。そのためには、世界の国や地域の歴史・地理・社会・文化等の基礎知識を基に、豊かな教養と広い視野を身につけ、多様な価値観を客観的に理解して判断・発信できるグローバルリーダーの習得が重要です。本入試では、世界や日本に関する関心や興味、調査力、分析力、表現力、積極性などを多面的・総合的に評価します。

出願資格

※各学部共通出願資格(P30参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および国際学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学国際学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.外国語および日本・外国文化に強い興味・関心がある者
- 3.出身学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上、かつ「国語」「地理歴史」「外国語」の学習成績の状況がいずれも3.0以上の者

選考方法

第1次選考	第2次選考
<p>〔書類審査〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む) 2.調査書(またはこれに代わるもの) <p>「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。</p> <p>※出身学校在籍中に取得した語学に関する資格・スコアがある場合は、評価の対象とします。</p>	<p>〔プレゼンテーション〕</p> <p>あなた自身の身近な興味・関心事がどのように「世界」とつながっているか、あるいはそれをどのように「世界」とつなげたいかについて発表する。(発表に使用する言語は、英語、中国語、スペイン語、インドネシア語、マレー語、日本語のいずれかひとつとする)</p> <p>〔質疑応答〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションを踏まえた質疑応答

経済学部

趣旨・目的

経済学部では、経済社会に関する探究心と自分の考えを適切に表現するための論理的な思考力を持ち、人と議論を交わし、他人の意見を尊重し、価値観や文化の多様性を受け入れることができる人を求めています。入学後は、経済社会の諸問題に積極的に取り組むことができる経済人を養成します。本入試では、書類審査およびプレゼンテーションを通じて、分析力、表現力、積極性などについて、多面的・総合的に評価します。

出願資格

※各学部共通出願資格(P30参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

1. 本学の教育理念および経済学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学経済学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
2. 経済や社会のニュースに興味・関心がある者
3. 出身学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上、かつ「国語」「数学」「外国語(英語)」の学習成績の状況がいずれも3.0以上の者

選考方法

第1次選考

〔書類審査〕

1. 志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む)
2. 調査書(またはこれに代わるもの)
「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。

第2次選考

〔プレゼンテーション〕

- ・提示する課題(①自己PR、②現代の経済問題)について発表
※詳細な課題は、入学試験要項にて掲示します。
- ・質疑応答

経営学部

趣旨・目的

本入試では、本学の教育理念、経営学部の3つのポリシーを理解し、かつ本学経営学部で学びたい強い意欲と情熱を持つ人材を求めます。また、経営学部が求める知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む姿勢・態度について、多面的・総合的に評価します。

出願資格

※各学部共通出願資格(P30参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

1. 本学の教育理念および経営学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学経営学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
2. 出身学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上の者

選考方法

第1次選考

〔書類審査〕

1. 志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む)
2. 調査書(またはこれに代わるもの)
「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。

第2次選考

〔プレゼンテーション〕

- 次の①～③のいずれか1つを選択して自分の経験談を発表
- ①自分が得意とすること
 - ②みんなで力を合わせてやりとげたこと
 - ③地域社会に役立つ取り組み

〔個人面接〕

プレゼンテーションを踏まえた質疑応答

理工学部

出願資格

※各学部共通出願資格(P30参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

1. 本学の教育理念および理工学部各学科の3つのポリシーを十分に理解し、本学理工学部の志望する学科で将来に役立つ技術・知識を学びたい強い意欲と情熱がある者
2. 出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況(注)」が志望する学科が指定する成績基準以上である者

学 科	成 績 等
生 命 科 学 科	全体の学習成績の状況が3.0以上 かつ「生物基礎」および「生物」の学習成績の状況の平均が3.5以上の者
住 環 境 デ ザ イ ン 学 科	全体の学習成績の状況が3.0以上 かつ「理科」「国語」「美術」のいずれか1つ以上の学習成績の状況が3.7以上の者
建 築 学 科	全体の学習成績の状況が3.0以上 かつ「理科」の学習成績の状況が3.5以上の者
都 市 環 境 工 学 科	全体の学習成績の状況が3.0以上 かつ「理科」の学習成績の状況が3.3以上の者
機 械 工 学 科 電 気 電 子 工 学 科	全体の学習成績の状況が3.0以上 かつ「物理」または「物理基礎」の学習成績の状況が3.7以上の者

生命科学科

趣旨・目的

生命の真理への興味と探求心のある人材、生命科学に関する高度な知識と技術を修得することで人の健康および自然環境との共生に貢献したい人材を求めます。本入試では、生物や化学の基礎知識を身につけているか、読解力と表現力を有しているか、問いに対する思考・判断力や自主的・自発的に取り組む態度などを評価します。また、医療や環境、化粧品や食品などの生命科学に関する分野で、協同して研究に従事できる積極性と意欲のある人材を望みます。

選考方法

第1次選考

〔書類審査〕

1. 志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む)
2. 調査書(またはこれに代わるもの)
「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。

〔事前課題〕

高校時代に行った生命科学(生物)に関する実験、観察、調査など

第2次選考

〔事前課題のプレゼンテーション〕

- 〔プレゼンテーションに係る質疑応答を含む口頭試問〕
〔質疑応答を踏まえた事前課題の内容に関する考案(レポート)〕

住環境デザイン学科

趣旨・目的

本学科を志望する動機や将来の進路について明確な展望を持っており、本学科で学ぶためのデザインの基礎力を身につけている人材を求めます。「書類審査」により専門技術者を目指すために必要な知識・理解を、「小論文」により本学科への入学意欲・関心と自分の考えを伝える表現能力を、また実技[描画]により知識・理解、思考・判断、技能・表現を評価します。

選考方法

第1次選考

〔書類審査〕

1. 志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む)
2. 調査書(またはこれに代わるもの)
「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。

〔小論文〕

〔実技〕

〔描画〕(定規の使用を認めない)

第2次選考

〔口頭試問〕

第1選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

建築学科

趣旨・目的

建築設計や建築生産などにかかわる技術、そしてその基盤となる知識・知恵を学ぶ強い意欲と大きな希望を持ち、より良い社会の実現に向けて活躍したい人材を求めます。建築分野の専門技術者を目指していくために必要となる基礎的な知識・技能、建築・都市計画分野に関する課題解決策を導くための思考力・判断力・表現力を評価します。また、専門分野に対する関心・意欲・態度や、主体性・多様性・協働性を評価します。

選考方法

第1次選考	第2次選考
〔書類審査〕 1.志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む) 2.調査書(またはこれに代わるもの) 「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。 〔小論文〕 〔実技〕 〔描画と内容解説〕(定規の使用を認めない)	〔口頭試問〕 第1選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

都市環境工学科

趣旨・目的

都市環境工学科では、複雑・高機能化した都市環境を建設・維持管理・リニューアルするハード面と環境に配慮した都市計画を立案するソフト面の両面から捉えた技術者教育を行い、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる人材の育成を目指します。このため、都市建設や環境保全に関わる分野に関心を持ち、技術を通じて社会に貢献したいと考えて努力する意欲とそのための素養があるかを質疑ならびに実験とレポートにより評価します。

選考方法

第1次選考	第2次選考
〔書類審査〕 1.志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む) 2.調査書(またはこれに代わるもの) 「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。 〔レポート〕(任意のA4サイズ用紙2枚程度) 〔テーマ〕 次の①、②いずれかから一つを選択 ①都市環境工学に関して高校時代に取り組んだ活動(例えば、橋梁模型コンテストや測量競技会への参加等) ②高校時代に行った物理に関する実験 〔内容〕 ①活動に取り組んだ背景、経緯、活動の内容、活動に対して高校で学んだ科目(数学、物理、工業)がどのように役立ったか、複数人で行った活動においては自分が果たした役割、活動を通じて身につけたこと、新たな気づきや興味を持ったことなど、について記述すること。レポート中に図を用いてもよい。 ②実験目的、実験内容と結果、複数人で行った実験においては自分が果たした役割、実験を通じて身につけたこと、新たな気づきや興味を持ったことなど、について記述すること。レポートの中に図を用いてもよい。 〔プレゼンテーション〕 レポートに関する内容説明と質疑応答	〔口頭試問〕 第1選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

機械工学科

趣旨・目的

機械工学科では、人類・社会が直面する課題解決に寄与する機械の研究開発や、ものづくりの基礎となる機械工学の専門知識を修得し、問題を発見し解決できる総合的な能力を身につけた実践的機械技術者の養成を目指します。このため、世の中の機械の設計や開発、ものづくりの分野に関心を持ち、知識と技能を駆使して人類と社会に貢献したいと考えて主体的に取り組める素養があるか否かについて、レポートと質疑によって評価します。

選考方法

第1次選考	第2次選考
〔書類審査〕 1.志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む) 2.調査書(またはこれに代わるもの) 「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。 〔実験報告レポート〕 任意のA4サイズ用紙2枚程度 〔テーマ〕 高校時代におこなった、または動画や教科書で学習した物理に関する実験 〔内容〕 実験目的、実験内容と結果、実験を通して気づいたこと、実験をおこなった場合は自分の役割、動画や教科書で学習した場合は自分で調べたことについて記述すること。図やグラフを用いてもよい 〔口頭試問〕 実験報告レポートの内容など	〔口頭試問〕 第1選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

電気電子工学科

趣旨・目的

社会を支える電気・情報・電子・通信工学の幅広い知識や技術について、電気工学・情報工学を中心に修得し、製品やシステム開発および設計施工などの現場において課題を発見して解決できる実践的な電気系・情報系技術者を養成します。このため、電気・情報・電子・通信工学に関わる分野に関心を持ち、電気機器等のものづくりや、プログラミングに主体的に取り組める素養があるか否かについて、レポートや口頭試問によって評価します。

選考方法

第1次選考	第2次選考
〔書類審査〕 1.志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む) 2.調査書(またはこれに代わるもの) 「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。 〔レポート〕 任意のA4サイズ用紙4枚程度 〔テーマ〕 これまでに作製したことのある電気関連機器やプログラムなどについて 〔内容〕 これまでに作製した機器やプログラムなどの名称、作製物の内容・構造、複数人で共同で作製した場合は自分自身が果たした役割、作製を通して身につけたことは何かについて記述すること。レポート中に図を用いてもよい。 〔プレゼンテーション〕 レポートに関する説明と質疑応答	〔口頭試問〕 第1選考を踏まえた基礎学力の確認を含む

薬学部

趣旨・目的

本入試では、高等学校等で学ぶ知識に限らず、日常生活や社会活動などを通じて身につく人間力、実践力および統合力を重視して選考します。特に薬学部では、将来薬の専門家として他職種と連携するため、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」が必要になります。そこで、思考力・判断力の能力審査に加え、化学実験ならびにグループ討議の実地審査を行います。与えられた課題に対し、解決に向けて取り組む力と姿勢を総合的に評価します。

出願資格

※各学部共通出願資格(P30参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

- 1.本学の教育理念および薬学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学薬学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
- 2.出身学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上、かつ「化学基礎」「化学」を履修し、学習成績の状況がいずれも3.0以上の者

選考方法

第1次選考	第2次選考
〔書類審査〕 1.志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む) 2.調査書(またはこれに代わるもの) 「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。 〔適性検査〕	〔実技〕 ・化学実験 〔グループ討議〕 ・実験結果に基づくグループ討議 〔口頭試問〕 ・基礎学力の確認など

看護学部

趣旨・目的

看護学部は能動的・協働的な学修ができる学生、即ち課題解決に向けた継続的な探求を行う能力と生命を尊重できる人間性を備え、地域社会と看護の発展に貢献したいという志を持つ学生を求めます。このような学生を選考するために「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲・態度」「技能・表現」を問う入試を行います。選考された学生にはアクティブラーニングを導入した講義・演習を提供し、卒業後において多職種と連携をとり、高い専門性と倫理観のもと自己研鑽を重ね活躍することを期待します。

出願資格

※各学部共通出願資格(P30参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

1. 本学の教育理念および看護学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学看護学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
2. 出身学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上、かつ「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」を履修し3科目合計の学習成績の状況の平均が3.0以上、および「化学基礎」または「生物基礎」を履修し、学習成績の状況がいずれか3.0以上の者

選考方法

第1次選考	第2次選考
〔書類審査〕 1. 志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む) 2. 調査書(またはこれに代わるもの) 「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。	〔協働作業〕 ・提示する課題について、グループで協働し作業する 〔グループ討議〕 ・医療、看護に関するテーマ 〔小論文〕 ・医療、看護に関するテーマ

農学部

趣旨・目的

※全学科共通

農学部では、地球規模の「食」と「農」の持続可能性は生活に直結する重要課題であると考えています。これらの課題に取り組む意欲と資質を持つ入学生を広く求めます。2015年に国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」を題材とした入試を行い、知識、技能、思考力、判断力、表現力、主体性、協調性を総合的に評価します。

出願資格

※各学部共通出願資格(P30参照)に加えて、次の学部の出願資格各項に該当する者

1. 本学の教育理念および農学部各学科の3つのポリシーを十分に理解し、本学農学部の志望する学科で将来に役立つ技術・知識を学びたい強い意欲と情熱がある者
2. 出身学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上、かつ農業生産学科、応用生物科学科、食品栄養学科は「理科」の学習成績の状況が3.4以上の者

選考方法

第1次選考	第2次選考
〔書類審査〕 1. 志望理由書(学修計画・卒業後の目標含む) 2. 調査書(またはこれに代わるもの) 「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価します。 〔グループワーク〕 ・SDGsに関するテーマ	〔論述問題〕 ・400字以内で作成 〔口頭試問〕 ・基礎学力の確認を含む

「入学試験要項」は本学公式Webサイトからダウンロードしてください



試験日・試験地	募集学部	出願期間	合否発表日	入学手続期間
2022年10/15(土) 大阪(本学:寝屋川キャンパス)	現代社会学部	インターネット出願 9/28(水)~10/4(火)	11/2(水)	一括手続 11/2(水)~11/14(月) 分割手続 1次手続 11/2(水)~11/14(月) 2次手続 11/2(水)~2023年1/16(月)

※入学手続は「一括手続」または「分割手続」のいずれかを選択できます。

アクティブラーニング型入試だけ!

定員**25名**の大型募集

選考は『個人ワーク』・『グループワーク』を重視

- アクティブ・ラーニング(能動的な学修)やPBL(課題解決型学習)を中心とした学びを展開するため、選考方法もアクティブ・ラーニングを通して評価します。

出願資格

- つぎの各項に該当する者
1. 本学の教育理念および現代社会学部の3つのポリシーを十分に理解し、本学現代社会学部で学びたい強い意欲と情熱がある者
 2. 本学を第一志望とし、合格すれば必ず入学する者(ただし、本学「専門学科・総合学科出身者対象入試」「課外活動優秀者入試」は併願可)
 3. 次のいずれかを満たす者
 - ① 高等学校または中等教育学校を2022年3月に卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を2022年3月に修了した者および2023年3月修了見込みの者
 - ③ 在外教育施設(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した者)、韓国高等学校または朝鮮高級学校を2022年3月に修了した者および2023年3月修了見込みの者
 - ④ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを2022年3月に修了した者および2023年3月修了見込みの者として該当し、志望学部・学科に関連する専門教育を行う学科・コースに所属していると本学が認めた者

選考方法

合否の判定は、つぎの各項目を総合して行います。

項目	内容	評価のポイント	配点	試験時間
書類審査	1. 志望理由書 ① 入学希望理由 ② 入学後に学びたい内容・学修計画 ③ 大学卒業後を見据えた目標 2. 調査書 「各教科の学習成績の状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」欄に記載の内容を評価する。	—	50点	—
個人ワーク	1. 課題提示 <テーマ> 現在および未来の社会が抱える課題を取り上げる。	理解力	50点	70分
	2. アクションプランの作成 ① 課題に対して大学生が取り組めること ② 具体的なアクションプラン ③ 期待される成果	提案力		
	3. プレゼンテーション・質疑応答	表現力および対応力		
グループワークと振り返り	1. グループでアクションプラン作成 各自が作成したアクションプランを持ち寄り、対話を通じてグループとしてのアクションプランを作成する。	発信力・傾聴力・対話力・協働力	50点	40分
	2. 振り返り ワークシートを用いて自身の振る舞いやワークへの取り組みを振り返る。	—		



募集学部・日程

Table with columns: 試験日・試験地, 募集学部, 出願期間, 合否発表日, 入学手続期間. Includes dates like 2022年10/22(土) and lists of departments such as 法学部, 現代社会学部, etc.

〈注意〉薬学部・看護学部は募集しません

※入学手続は「一括手続」または「分割手続」のいずれかを選択できます。

出願資格

本学の教育理念および各学部・学科の3つのポリシーを十分に理解するとともに、つぎの各項に該当する者

1. ①・②のいずれかを満たす者

①高等学校または中等教育学校の専門学科、総合学科を2023年3月卒業見込みの者

②専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを2023年3月修了見込みの者として該当し、志望学部・学科に関連する専門教育を行う学科・コースに所属していると本学が認めた者

2. 出身学校における調査書の「学習成績の状況」が志望する学部が指定する成績基準以上である者*

- 法学部, 国際学部, 経済学部, 経営学部, 現代社会学部, 農学部

「全体の学習成績の状況」が3.5以上である者

- 理工学部

「数学・理科・外国語の学習成績の状況の3教科平均値」または「全体の学習成績の状況」が3.5以上である者

*第1学年から最終学年1学期(または前期)までのものとする。ただし、2学期制の学校で、最終学年前期までのものが未決定の場合は前期中間テストまでのもの、それが不可能な場合は第2学年までのものとする。

選考方法

合否の判定は、つぎの各項目を総合して行います。

Table with columns: 学部, 項目, 内容, 配点, 試験時間. Details selection criteria for various departments like 法学部, 経営学部, 農学部, etc.

※面接では、志望理由書、学修計画書、卒業後の進路目標に関する質問を含みます。

「資格点」について

- 1. 資格の種類等に応じて点数化します。 (注意)複数の資格に該当する場合 (1)同区分については、最高実績のみを採用し、重複加算しません。 (2)異区分については、25点を限度として加算します。 2. 取得資格評価における、資格取得年月は問いません。 3. 出願期限までに取得している資格を対象とします。

取得資格評価基準

Large table with columns: 区分, 試験・資格名, 学部・学科 (法, 国際, 経済, 経営, 現代社会, 理工, 農), 評価 (15点, 13点, 10点, 6点, 3点). Lists various exams like TOEIC, TOEFL, IELTS, etc.

<注意> 1. 従来型、CBT、S-CBT、S-Interviewのいずれも可 2. TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコア



募集学部・日程

試験日・試験地	募集学部	出願期間	合否発表日	入学手続期間
2022年10/22(土) 大阪(本学:寝屋川キャンパス)	法学部 国際学部 経済学部	インターネット出願 10/3(月)~ 10/11(火)	11/2(水)	一括手続 11/2(水)~11/14(月) 分割手続 1次手続 11/2(水)~11/14(月) 2次手続 11/2(水)~2023年1/16(月)
	経営学部 NEW 現代社会学部			

〈注意〉理工学部・薬学部・看護学部・農学部は募集しません

※入学手続は「一括手続」または「分割手続」のいずれかを選択できます。

出願資格

本学の教育理念および各学部・学科の3つのポリシーを十分に理解し、つぎの各項に該当する者

1. つぎの①~③のいずれかを満たす者。

- ① 高等学校または中等教育学校を2023年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を2023年3月修了見込みの者
- ③ 在外教育施設(文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するとして認定した教育施設)、韓国高等学校または朝鮮高級学校を2023年3月修了見込みの者

2. つぎの①~④のいずれかを満たす者。

- ① 高体連またはそれに準ずる団体主催の都道府県大会に選手登録し、個人もしくは団体にベスト16以上の成績をおさめた者(運動競技)
- ② 都道府県コンクールやコンテストに出場し、個人もしくは団体に金賞または最優秀賞を受賞した者(文化活動)
- ③ ①または②と同等以上の成績をおさめたと本学が認めた者
- ④ 主将・部長または副主将・副部長を1年以上つとめた者

〈注意〉対象とならない課外活動成績

- ・私立学校または公立学校のみでの大会(都道府県内の一部の学校のみを対象とした大会)、都道府県の市・郡に相当する地区大会の成績
- ・段別大会、レベル別大会、リーグ別大会等で最上位のレベルに該当しない大会の成績
- ・高等学校以外のチームや団体での成績

3. 本学に入学後は、本学当該課外活動団体に入部し活動することを誓約する者

ただし、同種競技における「軟式」「準硬式」「硬式」が異なる団体への入部でも可とする。

※入学後の課外活動団体において、必ずしも希望するポジションやパートを担当できるとは限りません。

4. 出身学校における調査書の「全体の学習成績の状況」が3.0以上で、かつ志望する学部が定める指定教科※の学習成績の状況がいずれも3.0以上の者

(注)学習成績の状況の取扱い

・第1学年から最終学年1学期(または前期)までのものとする。

・ただし、2学期制の学校で、最終学年前期までのものが未決定の場合は前期中間テストまでのもの、それが不可能な場合は第2学年までのものとする。

※学部が定める指定教科

学部	指定教科
法学部 経営学部	国語・地理歴史・公民・外国語
国際学部	国語・地理歴史・外国語
経済学部 現代社会学部	国語・数学・外国語

対象とする運動競技または文化活動

運動競技	文化活動
<ul style="list-style-type: none"> ●アーチェリー ●アメリカンフットボール ●空手道 ●剣道 ●硬式庭球 ●硬式野球 ●サイクリング 	<ul style="list-style-type: none"> ●サッカー ●柔道 ●準硬式野球 ●少林寺拳法 ●水泳 ●卓球 ●チアリーディング ●ラグビーフットボール
<ul style="list-style-type: none"> ●軟式庭球 ●バスケットボール ●バドミントン ●バレーボール ●ハンドボール ●ホッケー 	<ul style="list-style-type: none"> ●陸上競技 ●スポーツクライミング ●吹奏楽

※入部状況により、男子または女子のみで活動している場合があります。詳細については入試部にお問い合わせください。
対象とする運動競技または文化活動団体については変更となる可能性がありますので、詳しくは入学試験要項をご確認ください。

選考方法

合否の判定は、つぎの各項目を総合して行います。

学部	項目	内容	配点
法学部	小論文	テーマは学部により異なる(60分)	100点
国際学部	面接	個人またはグループ	100点
経済学部	書類審査	志望理由書、学修計画書、卒業後の進路目標を評価します	40点
経営学部	課外活動実績	出願資格2.④に基づき、課外活動実績を評価します	10点
現代社会学部	調査書	調査書の全体の学習成績の状況を10倍します	50点

計300点

課外活動実績点

評価項目	評価事項	
	10点	5点
(1)主将・部長	主将・部長を1年以上つとめた者	———
(2)副主将・副部長	———	副主将・副部長を1年以上つとめた者